碧南ロータリークラブ週報

第３１８２回例会 令和８年１０月２８日(水)

●会長 杉浦 栄次
●幹事 岡島 晋一
●会場監督(SAA) 石川 鋼逸

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL〈0566〉41-1100　FAX〈0566〉48-1100
ホームページ：https://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　長田康弘・石川昌樹・三木信幸

2026-2027 年度
国際ロータリー会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT
持続可能なインパクトを生み出そう

●斉　唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

一般社団法人碧南青年会議所 理事長　角谷　瞬様

会　長　挨　拶


杉浦栄次会長

失礼致します。

本日も例会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。昨日の夜くらいからすごく寒くなってきまして、寒波もきていて、北海道では雪が降っているということがありまして、本当に秋がなくなって急に冬になりそうですので、ご自愛ください。

世間では GMO が情報漏洩で恐喝をされているようなことが起きたり、Anthropic が上場に際して「人類の存亡のリスクが」というような言葉が目論見書に記載されるということも報道で出ていまして、日々、AI 界隈というのが非常にざわついているなと感じております。よくある映画のようにコンピューターが人類を支配するような、そんなことがないように願っておりますけれども、世界が正しく舵取りをしてくれることに期待するしかありません。

話は変わりますけれども、先々週の 15 日と 16 日に孫を連れて東京ディズニーリゾートへ行ってまいりました。15 日はディズニーランドへ、16 日はディズニーシーへ行きまして、特にディズニーシーは新しくできましたファンタジースプリングスというところを中心に回ってきました。ファンタジースプリングスにはフローズンキングダム、ラプンツェルの森、ピー

ターパンのネバーランドというエリアがありまして、新しくできたところですので、それはものすごく壮大で、まさに夢の国だなと思って帰ってきました。

ディズニーランドの歴史について少し調べてみますと、1960 年に千葉の浦安の巨大な埋立地に大規模な施設を作ろうということが発端で、株式会社オリエンタルランドというのが設立されたそうです。その後、1979 年になりますと、アメリカのディズニー社と正式に契約を結びまして、1980 年にディズニーランドの建設に着工します。そして、1983 年にディズニーランドは開園しました。

記憶を遡ると、私も 1984 年くらいに今の妻、その頃はラブラブだった彼女とディズニーランドへ行った思い出が蘇ってきました。その頃は周りにホテルとかがなかったんですけれども、今はものすごいことになっております。

開園から 2000 年にかけまして、ディズニーランドが急成長していきまして、1985 年にエレクトリカルパレードが始まったそうです。1987 年にビッグサンダー・マウンテンが登場しまして、1988 年に第 2 テーマパークの構想が立ち上がったそうであります。1992 年にはスプラッシュ・マウンテンが登場しました。1988 年に舞浜駅ができたおかげで飛躍的にアクセスが向上しまして、来園者がどんどん爆上がりしていきました。

2000 年からはディズニーリゾートとして発展していきます。もともとは単独の遊園地でしたけれども、宿泊や買い物を楽しめる大型リゾートという形で開発がどんどん進んでいきます。2000 年にアンバサダーホテルというのが開業しました。2001 年には第 2 テーマパークの構想が実現しまして、ディズニーシーが開園し、ディズニーリゾートラインという電車も開業しております。2008 年にはディズニーランドホテルを開業して、2010 年にはホテルやエンターテインメントの施設が充実していきました。

まだ私どもの子どもが幼い頃に長田和徳さんの家族とディズニーシーに行ったことがありまして、家族は先乗りをして、ホテルミラコスタに泊まっていました。当時、長田さんと私は JC の現役でしたので、JC の会合か何かがありまして、2 人で遅れてディズニーシーへ行きました。その時に乗ったのが先ほどお話ししたディズニーリゾートラインという電車でございまして、スーツ姿のおじさん 2 人が、窓の形がミッキーマウスになっている電車に乗ってミラコスタへ向かったという思い出があります。

2020 年代から現在にわたりまして、大規模な拡張と新しい時代に向かって、まだまだ開発が進んでおります。2020 年にはニューファンタジーランドというのがオープンしまして、シンデレラ、ピノキオ、美女と野獣などのエリアができました。2022 年にはトイ・ストーリーホテルというのも開業しております。2024 年にファンタジースプリングスホテルというのが開業しまして、現在に至っているということだそうでございます。

東京ディズニーランドの歴史から学べることというのは、お客様の期待を常に超えようという姿勢、常に変化をし続けるということ、人材を大切にするということ、長期的な視点で投資をするということの大切さがうかがえるのかなと思います。

エレクトリカルパレードを見る時、私の子どももそうでしたし、今回の孫たちもそうでしたけれども、始まると目をキラキラさせていて、その目のキラキラ感を見るだけで心が癒されるというか、見せられてよかったなと感じました。

アルバイトの話も有名でございまして、皆さんご存知かと思いますけれども、レストランに訪れた夫婦が、アルバイトの店員に 2 人分の食事とお子様ランチを 1 つというふうに頼んだことがあったそうです。それを不思議に思ったアルバイトの店員が事情を聞いたところ、その夫婦には子どもがいたんですが、事故で亡くなってしまって、ディズニーランドに行く約束をしていたので来たということだったそうです。

その時にアルバイトの店員は何をしたのかというと、そっと子ども用の椅子をテーブルに持っていき、「どうぞごゆっくり」と言ったそうです。こういうことができるのがディズニーランドの教育だし、ディズニーランドの素晴らしさだとよく語られるのかなと思います。

今回、ディズニーランドに行かせていただいて感じたことは、スタッフの優しさや丁寧さはやっぱりさすがだなと感じましたけれども、昔よりも少しマニュアル的になっているかなという感じもしました。それから、ホテルはめちゃくちゃ高いです。ただ、その高いホテルにいろんな特典がついていたり、お金次第でファストパスが買えるみたいなことも多くなっていたりしまして、非常に格差を感じて帰ってくるような気持ちになりました。ぜひ永遠に夢の国であることを期待したいなと思っております。

本日は碧南青年会議所の理事長であります角谷瞬君に卓話をしていただきます。夢ある未来を感じるスピーチをきっとしていただけると期待しております。

本日もよろしくお願い致します。

幹　事　報　告



岡島晋一幹事

幹事報告をさせていただきます。

- ガバナー事務所より「第 55 回ロータリー研究会 ライブ配信のご案内ならびに周知のお願い」が届いております。
- ロータリー名簿が出来ましたので、皆様方のボックスに入っているかと思います。ご自身の内容に間違いがないか確認をしていただきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。
- 11 月 4 日（水）は休会になります。次回の例会は 11 月 11 日（水）になりますので、お間違いなきよう、よろしくお願い申し上げます。
- 11 月 11 日（水）の例会終了後に第 5 回理事会を開催致しますので、役員、理事の皆様はご出席のほど、よろしくお願い申し上げます。

委　員　会　報　告

＜出席奨励ニコボックス委員会＞

総会員数 61 名（内出席免除者 17 名の内出席者 14 名）出席者 44 名	
出席対象者　44／58 名	出　席　率　　75.86%
欠席者 17 名（病欠者 0 名）	

＜ニコボックス＞

杉浦　栄次君　未来のロータリーメンバー 碧南青年会議所第７０代理事長 角谷瞬様のご来訪を心から歓迎いたします。

岡島　晋一君
鈴木　　洋君
倉内　松雄君　１０月２５日（日）碧南市消防団消防操法大会を無事開催することができました。杉浦会長、長田会頭、碧南市臨海工業地帯防災連絡協議会 中川会長、歴代団長の角谷信二様、長田康弘様、石川鋼逸様、多くの皆様にご臨席賜り、誠にありがとうございました。

黒田　昌司君　傘寿祝、頂戴致しました。ありがとうございます。

木村　徳雄君　角谷瞬 碧南青年会議所理事長ようこそ。碧南ロータリークラブにみえて、卓話をしてもらえてありがとう。楽しく聴聞させていただきます。

角谷　信二君　本日、倅がお世話になります。食後の心地良いＢＧＭになれば幸いです。ＰＳ．謝礼は必ずニコＢＯＸへお返し下さい。

石川　鋼勇君
鈴木　　洋君
神谷　領伸君
中川　　哲君
杉浦　友則君
岡田　　陽君　杉浦会長、角谷信二さん、長田康弘さん、岡島幹事、先日の１０月例会後の二次会でステキなバーにおつれ頂き、まことにありがとうございました。

鈴木　　洋君　本日の卓話講師、一般社団法人碧南青年会議所理事長 角谷瞬様をご紹介いたします。

小林　清彦君　当法人で長年取り組んできた未来への支援、今年もご案内させていただきます。また、今年度の最優秀校の教員が記念すべき第１回に参加した生徒でした。「学びのバトン」がこうして次の世代へつながっていく。これほどうれしいことはありません。ぜひ、応援をお願いします。

亀山　晋次君　昨日、同期分団長会にて岡島晋一さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。楽しかったです。

榊原　靖浩君　先達て、ＲＩ第２７６０地区の青少年奉仕委員会に出席してきました。本日、中部経済新聞にその折のテーブルディスカッション風景写真が掲載され、私、写ってしまいました。

卓　　話

「一般社団法人碧南青年会議所について」

一般社団法人碧南青年会議所 理事長　角谷　瞬様



角谷　瞬様

皆様、改めまして、こんにちは。

只今ご紹介に与りました一般社団法人碧南青年会議所2026年度第70代理事長職を務めております角谷瞬と申します。本日は杉浦会長をはじめとするロー

タリー会員の皆様、このような機会をいただきありがとうございます。青年経済人らしく元気よく頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

本日は「一般社団法人碧南青年会議所について」というところなんですけれども、せっかくですので、私のことを知っていただく機会にさせていただきます。前半は私について、後半は碧南青年会議所（JC）がどんな団体なのかをご説明させていただければと思います。

まずは家族構成についてですが、私が平成元年生まれの 37 歳で、妻がいて、長男が 6 歳、長女が 4 歳、次男が 1 歳の 5 人家族になります。日々の家庭を円満に活動しております。

先ほどのご紹介していただきましたけれども、私の中では高校の教員時代というのが自分をすごく作り上げたなというふうに思っておりますので、どんなことがあったかというところをお話しさせていただきたいなと思います。

なぜ高校の教員になったかというところなんですけれども、私は野球というスポーツで出来上がった人間でございます。ちなみに私は小学校 2 年生まではサッカーをやっていたんです。小学校 2 年生のとある日もサッカーに行こうとしたら、父から「今日はそっちじゃなくてこっちだよ」という感じで、急に野球が始まりまして、別にやりたくて野球を始めた訳じゃないんですけれども、仲間に恵まれて、小学校では弱かったんですけれども、たまに優勝することもありました。

そんな中、中学校に進学した時に軟式野球から硬式野球に変えて、クラブチームに行きました。高校に進学する時に私立か公立かを迷っていたんですけれども、父から「絶対に碧南高校に行け」と言われたので、碧南高校で野球を頑張らせていただきました。この高校時代が私にとって影響が大きくて、高校で野球をやめずに中京大学でも野球をやりまして、幼少期からずっと野球で角谷瞬という人間が出来上がっていきました。

碧南高校での私の最後の終わり方なんですけれども、対戦相手はプロ注目の球速 140 km/h を超えるピッチャーがいるチームで、何とか取った 1 点を 8 回まで守り切って 1 対 0 で勝っていました。私はピッチャーだったんですが、9 回の相手の攻撃の先頭打者が 4 番からで、その試合で 4 番にだけ 2 安打されていて、少しビビってしまい、フォアボールを出してしまいました。そして、次の 5 番の初球にホームランを打たれてしまいました。そのバッターは高校人生で初めてホームランを打ったみたいで、私は「悲劇の 114 球目」という感じで、新聞に載りました。

そんなエピソードがありまして、社業がある、碧南小型運送という会社があるというのを幼少期から知っていましたけれども、両親から「自分のやりたいことをやればいい」という後押しをしていただきましたので、だったら自分が高校時代に負けた悔しさを教えたい、少しでも勝てる喜びを生徒たちに教えたいという気持ちがありまして、高校の教員を目指すようになりました。

いよいよ社会人になりまして、なりたい職業に就けて、夢と希望しかありませんでした。そして、高浜市にある高浜高校に赴任することになりまして、気合を入れてグラウンドを見ましたら、雑草だらけで野球ができるグラウンドではありませんでした。ビックリしました。なので、まずは生徒たちと一緒に草取りを一生懸命やりまして、環境を整えました。これでやっと野球ができるなと思いまして、ノックをやってみたら全く取れない、バッティングをやら

せてみたら全く打てない、というレベルだったんですが、そこで心が折れることはありませんでした。

この状況から私は「強制」の時代にしました。どんなことかというと、例えば、「素振りを1,000本しなさい」「走りなさい」ということで、とにかく私が決めたことを1から10まで徹底的に教えてやらせました。今の時代では許されませんけれども、強めの圧をかけて怒りながらやっていました。私は独裁者のようになっていました。

このやり方の結果、それなりに勝てるチームになりました。それまでは私が中学校にスカウトに行っていたんですけれども、スカウトに行かなくても地域に噂が広まって、集めなくても生徒たちが集まってくる方向になっていきました。こんな状態になったので、私はめちゃくちゃ天狗になっていました。

強制の時代が3年ほど経ったとある昼休み時間、いつものように野球部のキャプテンと副キャプテンが私のいる職員室に来ました。ですが、その日はキャプテンの様子がいつもと違ってニヤニヤした顔をしていました。それはなぜかというと、私が言う前に練習メニューを言ってきたんです。

私はここで2つの感情を味わいました。1つ目は「嬉しいなぁ～」となりました。やっとここまで来たか、何も言わずとも動くようになったかと。2つ目の感情が教員時代に学んだ1つ目になります。「ん？」という感情を味わいました。その日を境に日々の練習姿勢に目を向けると、私が言ったことをやっているだけで、生徒たちは全く考えていないんじゃないか。だから私が言ったことしかできない。つまりは指示待ち人間になっていました。やることはやるけど、それ以上のことができない野球部になっていました。それって野球が勝てるだけでいいのかなというふうに改めて気づかされました。

そこから、主は私ではなく、主は生徒たちであるというふうに考えるようになりまして、1から10まで徹底的に教えていた人間が何をしたかというと、「0（ゼロ）」です。生徒たちが主体的になるようにシフトチェンジしました。具体的には練習メニューを生徒たちに考えさせるようにしました。どのような内容かというと、例えば、バッティングで流す方向に打つ練習をすることで、体の使い方を学びたいだとか、ノックを受ける時にいつもより1～2m前にいくことで、速い打球を受ける練習がしたいなど、どんどん生徒たちで考えるようになっていきました。

その結果、私が一番面白いと感じたのは、生徒たちは「練習に遊びを入れたい」と言ってきました。例えば、体力がなくて、ただ走るだけでは何も面白くないので、鬼ごっこがしたいだとか、先生は「集中しろ」と言うんですけど、集中という言葉が抽象的過ぎてどういう状態かわからなくて、調べてみたら、ジャグリングをやっている時が集中している状態とわかったので、お手玉を3つ持ってジャグリングがしたいなど、高浜高校はどんどん熱くなっていきました。

結果的にどうなったかというと、生徒たちは自分で考えることで、根拠ができました。根拠ができると、生徒たちはそれに対して責任感が生まれるようになっていきました。責任感があれば、主体的行動ができるというふうになっていきまして、試合でもサインを出していませんでしたので、いよいよ私が不必要になっていきました。

私は野球ばっかりやっていればいいと思っていた教員生活なんですけれども、実はもう 1 つだけ教員をやっていて良かったなと思ったことがありまして、先輩の教員の方から「日々の教員生活を過ごす中で、君は何を大切にしているの」と言われました。私は「生徒とのコミュニケーションです」と言いました。すると、「そんなことは当たり前で、大切なのはコミュニケーションをするタイミングだよ」と言われました。コミュニケーションにタイミングがあるのかと思ったんですけれども、「日々の観察をして、変化に気づいた時に声をかけてあげなさい」と言われました。

なるほどと思いました。これは今の会社でも実践していて、私の会社は運送業ですので、出勤してきたら必ずアルコールチェックをするように乗務員はなっているんですけれども、基本的には元気に出勤してくる方が、たまに下を向いていたり、大げさにため息をついて出勤してくる時があるんです。そのタイミングで話しかけると、「何でわかるんですか」みたいな感じになりまして、相手は「あの人は私のことを見てくれている」という感情になる。そして、「自分のモヤモヤの気持ちをあの人に話したい」という気持ちになる。これがコミュニケーションの一番大切なタイミングだということを教員時代に学びました。

教員を 6 年間ぐらいやらせていただいて、それから社業に戻らせていただいて、運送業のことをやりながら、消防団に入らせていただきました。そこで石川鋼勇先輩との出会いがありまして、そこからいろんな方をご紹介していただいて、2021 年に碧南青年会議所に入会をするという流れになります。

2026 年度の本年で創立 70 周年を迎える組織なんですけれども、JC（青年会議所）は「明るい豊かな社会の実現」というものが理念にあります。「社会」というものはすでに実現していると思います。JC は「明るい豊かな」というところにフォーカスを当ててやっております。じゃあ、それは何かということで、ここが教員時代とつながったというところなんですけれども、JC も「0（ゼロ）」を作り出す団体でありました。

JC は「運動を起こせ、運動を起こせ」と言うんですけれども、JC が言う「運動」は体を動かすことではなくて、人々の意識やその意識を変えることによって行動の変化を生み出すということであります。

JC はボランティア団体によく間違えられるんですけれども、全く違います。大まかに JC とボランティア団体との違いをお話ししたいと思います。今からすごくざっくりした絵を出します。少年がいまして、この少年は「お腹空いたよぉ」となっております。この少年の近くに釣りをしている少年がいました。この釣りをしている少年は「空腹でかわいそうだなぁ」と見ております。

ここから何をどうすればボランティアになるのか、答えは「釣った魚をお腹の空いている少年にあげる」です。これは JC がやっていることではありません。JC はどういう考えか、答えは「魚の釣り方を少年に教えてあげる」です。これが JC の活動です。きっかけを与えてあげることで、自分で生きていくことができるというのが、JC とボランティア団体との違いの大きなくくりだというところであります。

小さなきっかけ（運動）を与えることで、ちょっとした意識の変化で行動が変わる。その連鎖を作っていくのが JC ということで、「小さな波紋が大きな波に」というところを目標に活

動しております。

それでは、最後になります。是非、碧南青年会議所へ入会していただくよう、ご子息ならびに社員の方のご紹介を何卒よろしくお願い致します。現在 30 名で活動しておりまして、全盛期は 80 名近く在籍されていた頃から、だいぶ少なくなってしまった団体になります。しかし、やっていることは変わらず、地域のために、社業のためにというふうにやっておりますので、よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和８年１１月１８日（水）卓話「仏壇業界の今とこれから」

株式会社仙台屋　常務取締役　近藤隆仁氏